



展覧会

映画監督
森田芳光

FILM DIRECTOR YOSHIMITSU MORITA

2025.8.12 TUE.-11.30 SUN.

*月曜日、8月26日(火)―9月5日(金)、10月7日(火)―12日(日)は休室です。

国立映画アーカイブ展示室(7階)

開室時間:午前11時―午後6時30分(入室は午後6時まで)

*9/26、10/31、11/28の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)

料金:一般500円(400円)/大学生300円(240円)/65歳以上、高校生以下および18歳未満、

障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立美術館のキャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。

*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」

またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

主催:国立映画アーカイブ、ニュース・コーポレーション(森田芳光事務所)

国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/

X(旧Twitter):@NFAJ_PR Facebook:NFAJPR Instagram:nationalfilmarchiveofjapan

写真:「それから」撮影中の森田芳光(1985年) 篠山紀信撮影



愛用の8mm映画機材 森田芳光事務所蔵

8mm映画の自主製作を皮切りに、商業映画デビュー作『の・ようなもの』(1981年)以来、独立独歩のフィルムメーカーとして1980年代以降の日本映画に絶え間なく話題作を提供してきた映画監督森田芳光(1950-2011)。喜劇、アイドル映画、文芸作、恋愛映画、法廷劇、ホラー映画、ミステリー映画、時代劇といったジャンルの垣根を取り払い、『家族ゲーム』(1983年)や『黒い家』(1999年)などでは時代の世相も巧みに取り入れながら、一作ごとに異なるスタイルや意表をつく演出を盛り込んだ作品群は、時に社会現象となるほどの大きな反響を呼び起こしました。

この展覧会では、そうした多彩な作品を取り上げるとともに、監督自身の愛蔵品や劇中で使われた小道具なども交え、近年世界的に進みつつある再評価の流れにも触れながら、アイデアと独創に満ちた監督像を示します。

Starting with his independent 8mm film production, and ever since his commercial debut, *Something Like It* (1981), director Morita Yoshimitsu (1950-2011) has been an independent filmmaker who has provided a constant stream of popular works to Japanese cinema since the 1980s. He broke down the boundaries of genres such as comedy, idol films, literary films, romantic films, courtroom dramas, horror films, mystery films, and jidaigeki (period dramas), and in works such as *The Family Game* (1983) and *The Black House* (1999), he skillfully incorporated the social conditions of the time, while incorporating different styles and unexpected direction in each work, which sometimes caused such a huge reaction that they became a social phenomenon.

This exhibition will feature these diverse works, as well as the director's own treasured items and the props used in the films, and will present an image of a director full of ideas and originality, while also referring to the recent global trend of reevaluation of his work.

展覧会の構成

- ▶ 『家族ゲーム』食卓再現コーナー
- ▶ 監督の書齋を再現
- ▶ 秘蔵資料満載の引き出しケース
- ▶ 海外から寄せられたコメント集
- ▶ 愛聴レコードギャラリー
- ▶ ポスターギャラリー ほか



1



2

3

6



4

5

1 自主映画時代のアイデアノート 森田芳光事務所蔵 2 『の・ようなもの』(1981年)フィルム缶 森田芳光事務所蔵 3 『の・ようなもの』(1981年)お守り 森田芳光事務所蔵 4 『家族ゲーム』(1983年)小道具 インテリアコースター 森田芳光事務所蔵 5 『家族ゲーム』(1983年)小道具 植物図鑑 森田芳光事務所蔵 6 『未来の思い出 Last Christmas』(1992年)劇中キャラクターのぬいぐるみ 杉山泰一氏蔵 7 『家族ゲーム』(1983年)ポスター 国立映画アーカイブ所蔵 8 『ハル』(1996年)ポスター 国立映画アーカイブ所蔵

トークイベント

場所：展示室ロビー(7階)

*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

ライムスター宇多丸が語る「ココが見どころ! 展覧会『映画監督 森田芳光』」

開催日：2025年8月23日(土)

講師：ライムスター宇多丸氏(ラッパー、ラジオパーソナリティ)

開催日：2025年10月18日(土)

講師：三沢和子氏(プロデューサー) 聞き手：佐野亨(当館特定研究員)

関連上映企画 「映画監督 森田芳光」

2025年10月14日(火)~26日(日)
11月4日(火)~23日(日・祝)

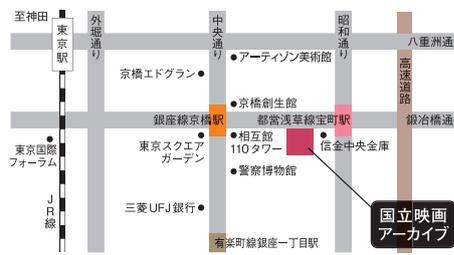
*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。



長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ：ハローダイヤル 050-5541-8600
国立映画アーカイブホームページ
www.nfaj.go.jp/



交通

- ▶ 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶ 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶ JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

